

中期経営計画Make Waves 2.0（2022/4～2025/3）サステナビリティKPI・目標詳細

分野	マテリアリティ	取り組みテーマ	活動とKPI・目標	実績
環境	気候変動への対応	事業所におけるCO ₂ 排出削減（Scope1+2）	① 省エネ（空調、コンプレッサ、集塵を主なターゲット）によりCO ₂ 排出量を5%削減（2018年3月期比） ② 太陽光発電設備設置や再エネ電力購入により再エネ比率を10%に拡大 ③ CDP気候変動 Aリスト企業継続	① 各種省エネ施策推進（電力監視システム導入等）により目標5%削減に対し6.1%削減 ② 大型太陽光発電稼働開始（掛川）、再エネ電力拡大（天竜、インド）、再エネ電力比率目標10%に対し21.5% ③ CDP気候変動 Aリスト企業に選定（2023年、2024年）
		調達、物流、製品使用における排出削減（Scope3）	① 調達パートナー企業との削減目標共有と削減量集計システム構築 ② ダウンサイジング、コンテナ積載の工夫等による物流積載効率5%向上、環境対応推進物流企業との契約 ③ 製品の省エネルギー設計：アンプ系音響製品の高効率化／ネットワーク機器の使用電力・通信量の見える化・削減提案／車載オーディオの消費電力削減・スピーカー重量削減／エコプロダクツ（省エネ関連）認定 10件/年	① サプライヤーCO ₂ 削減量の当社集計値への反映拡大 ② 物流積載効率5%向上、物流企業選定における環境取り組みの要件化 ③ 高効率アンプ搭載に向けた取り組み進展／消費電力をリアルタイム表示する機能を搭載したネットワーク機器のモデル数拡大／車載オーディオにて消費電力を削減したアンプの量産出荷開始、重量削減したスピーカー量産に向けた検証完了／エコプロダクツ制度を見直し、商品企画時に省エネ等の環境負荷低減を検討する仕組みを導入
		製品・サービスによる貢献	① EV化シフトの安全を担保するLi電池用リークテスターの販売拡大	① Li電池用リークテスターのさらなる受注拡大に向けた開発、メーカーへの提案
	持続可能な木材の利用	木材の持続可能な調達、利活用	① 木材デューディリジェンス徹底、低リスク判定100% ② 自社基準設定と認証材など基準に適合した木材への設計変更、切替えにより、持続可能性に配慮した木材を75%に拡大 ③ 代替材開発（樹種変更含む）による希少種の保全	① 低リスク判定98.6% ② 持続可能性に配慮した木材の自社基準制定、基準適合率69.5%（うち認証木材56.0%） ③ アフリカン・ブラックウッドを使用した天然材再生技術の特許出願
		森林育成推進	① 楽器製造に必要な希少樹種のうち3樹種の育成・保全活動を展開：タンザニア（アフリカン・ブラックウッド）対象エリアの拡大／北海道（アカエゾマツ）連携協定の活用／インド（ローズウッド）基礎調査の開始	① タンザニア（アフリカン・ブラックウッド）植林累計2.7万本（4村、13.5ha）／北海道（アカエゾマツ）アカエゾマツ人工林材の成長と材質に関わる共同研究を大学や研究機関と継続、アカエゾマツ活用楽器の製作準備／インド（ローズウッド）現地パートナーとの連携による保全活動計画策定、関係機関と基本合意
	省資源、廃棄物・有害物質削減	製品・梱包の省資源化・資源循環性向上	枯渇性資源の新規投入削減、製品廃棄量削減の基盤作り ① 3R設計基準の策定と新規開発モデルへの適用（減量化・減容化、サーキュラー素材の使用、長期使用の促進、分別処理の容易化） ② 不要な梱包材の廃止、サーキュラー素材への転換を推進（新規小型製品の梱包材プラ廃止） ③ 資源循環の横断課題に対する全社方針決定と運用開始 ・アップグレード、耐久性向上等による使用期間拡大（ピアノ、PA等） ・日本ではリユースの対象商品を拡大、海外ではリユーストライアル開始 ・外部連携業者の選定とリサイクル実現性検証完了 ④ 未活用材の有効利用 ⑤ オフィスでの紙使用削減、カタログ等販促物のデジタル化推進	① 資源循環設計（梱包関連）、リユース（販社での取り組み）のための基準・ガイドラインを制定 ② 発泡スチロールは削減対象を小型製品以外にも拡大して代替、その他の梱包材では一部のプラスチック袋についてリサイクル材への代替などを実施、現時点で技術的理由などにより代替困難な梱包材については未実施（代替材の調達性調査や性能評価は継続中） ③ 資源循環実現への取り組み ・ピアノアップグレードサービス展開国拡大 ・楽器買取サービス、レンタル拡大（日本）、楽器サブスクトライアル拡大（英） ・リサイクル関連企業の調査実施 ④ アフリカン・ブラックウッド未利用材を鍵盤に活用した電子ピアノコンセプトモデルをリリース／未活用材の価値を生かしたダイバーシティクラリネット、アップサイクリングギターの企画展示実施 ⑤ 固定資産棚卸のペーパーレス化トライアル実施
		製品・サービスによる貢献	① 食品/医療包装や電池のラミネート不良を防ぐ超音波検査事業の成長	① 食品包装と医療包装用途で超音波検査装置販売
		有害化学物質削減（VOC等）	① プラ・金属用水性塗料の基礎技術開発完了 ② ピアノポリエステル代替塗料の基礎技術開発完了 ③ 自動車用内装部品の脱石油・VOCゼロ化に向けた新製法開発推進	① プラ用水性塗料への切り替え開始（蘇州） ② ピアノポリエステル代替塗料開発、新たな塗装系の開発に方針変更 ③ 環境負荷削減製法の基礎条件確立
社会	平等な社会と快適な暮らしへの貢献	ユニバーサルデザイン・アクセシビリティへの配慮	① 障がい者、高齢者問わずピアノを楽しめる“だれでもピアノ”の開発推進 ② 電子楽器やアプリ（Smart Pianist等）への読み上げ機能、音声コマンド機能の実装	① “だれでもピアノ”を使い、障がいのあるピアニストがオーケストラや合唱団と共演するコンサート“だれでも第九”を開催／“だれでもピアノ”β版アプリリリース ② 電子楽器音声ガイド機能、一部モデルにて英語・中国語に対応、製品カテゴリー拡大準備
		遠隔コミュニケーション	① 高品質・自然な遠隔コミュニケーションの実現（企業、学校等） ② 快適で臨場感のあるリモート演奏・リモートレッスンの実現	① 音響と遠隔コミュニケーションの両販路にて顧客へのソリューション提案本格化 ② 若手ピアニストと音大を繋ぐDisklavierリモートレッスンを実施（12回、のべ62名）／音声、映像、照明の制御信号などファイル形式の異なるデータをオーディオデータ形式に統一して記録・再生する世界初のシステム「GPAP」を開発、エレキギター、エレキベースでの演奏再現、ドラム演奏の再現力向上
		心身の安全と健康	① 耳を保護するための、小音量でも良い音の音響技術“リスニングケア”をヘッドホン・イヤホン全商品に搭載 ＊一部の特殊なモデルを除く ② 車載オーディオ音響補正機能搭載（事故防止） ③ 緊急通報システム（e-Call）の高音質化で交通事故被害を低減 ④ 音楽を用いた高齢者の認知症予防、生きがい創出、QoL向上	① 販売する全てのコンシューマー向けワイヤレスイヤホン、ワイヤレスヘッドホンに「リスニングケア」を搭載 ② 車載オーディオ音響補正アルゴリズム開発完了 ③ 緊急通報システム（e-Call）の採用拡大 ④ 東京藝術大学が中核となり39の機関が連携した「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」に参画
	バリューチェーンにおける人権尊重	サプライヤーの労働人権管理レベルの向上	① サプライヤー実地監査導入（60社） ② 購買品分類毎に管理レベルを設定しデューディリジェンスを実施 ③ サプライチェーン上の人権侵害に関する苦情処理システムの導入（目標追加）	① サプライヤー実地監査60社実施（5ヵ国） ② 前回一斉調査（調査票による）を実施した製造用購買品のサプライヤー約2千社のうち一部取引先には是正要請・確認を継続、行動規準遵守と調査票による調査の対象拡大を実施 ③ サプライチェーン上の人権侵害に関する通報・相談に対応するため、一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構（JaCER）に加盟し、同機構が運営する対話救済プラットフォームによる苦情受付を開始

文化	音楽文化の普及、発展	音楽文化の普及発展に資する製品・サービス・活動	① 音楽による街づくり事業「おとまち」の拡大（新規案件15件／3年） ② 楽器をもっと身近に感じて頂くための試奏ピアノ（LovePiano）の拡大（日本40件/年、海外3件/年） ③ Real Sound ViewingやAIを活用した楽器や音楽文化の保存 ④ 地域音楽の演奏を可能にする電子楽器・コンテンツ提供（コンテンツクリエイター育成、制作ツール開発） ⑤ 電子楽器 Smart Pianist機能強化、AIによる自動伴奏・難易度調整機能開発 ⑥ 吹奏楽再活性化に向けたキャンペーン展開（“共奏”の機会、コンテンツ提供） ⑦ ギター上達支援サービスの提供 ⑧ True Sound浸透（イベント主催、体験の場づくり）で感動の最大化 ⑨ 音楽文化発展に不可欠な講師・技術者の育成 ⑩ 高齢者向け教育機関と連携したシニア需要の開拓 ⑪ 女性向け楽器チャレンジイベント「She's Got The Groove」AP版社への展開拡大（15社）	① おとまち 福井PJ、石川県立音楽堂でのイベント、プラスジャンボリー（小山、京都、川崎）など新規案件17件 ② LovePiano 102件（日本79件、海外23件） ③ Real Sound Viewingを活用した馬頭琴や沖縄三線の展示実施 ④ コンテンツクリエイターの育成継続・人数増、ローカルテイストを活かしたコンテンツ制作展開 ⑤ Smart Pianistに「PDF to Score」「Score Reader」「Backing Conductor」などの演奏支援機能導入 ⑥ 大手メディアとタイアップした動画コンテンツの制作・配信など再活性化施策を展開、ヤマハトップアーティストからなるスペシャル吹奏楽団によるコンサートを浜松以外に川崎で初開催 ⑦ ギターの上達をサポートする様々な動画コンテンツやオンラインセミナーの配信サービスを展開（日本） ⑧ アーティストとの協業による「DISCOVER TRUE SOUND」動画コンテンツを制作公開 ⑨ 音楽教室講師の指導力維持向上に向けLesson Surveyやオンライン・対面研修実施、将来に向けた次世代指導スタッフ研修実施 ⑩ 中国老年大学への楽器寄贈（11件） ⑪ ナイジェリアとケニアの女性アーティストと協業したイベントおよびコンテンツ制作、メキシコにて楽器チャレンジイベント実施など、5版社で展開
		次世代育成への貢献	① 新興国の学校教育への器楽教育普及（スクールプロジェクト）支援対象10ヵ国 累計230万人 ② 海外音楽教室の在籍者数+10万人 ③ 青少年育成オーケストラ・バンドへの支援を通じた、青少年の健全な精神の育成 ④ 音響教育の提供：より良い音で健康的に音楽を楽しむための学校教育用コンテンツ作成等 ⑤ 中国農民工学校への楽器寄贈（3回／年） ⑥ 若手音楽家・音楽研究家の活動支援	① スクールプロジェクト 10カ国累計425万人 ② 中国双減政策の影響等で苦戦、生徒数+1.1万人 ③ 管楽器リペア認定技術者41名、技術・メンテナンスセミナー138回実施（中南米） ④ 音響教育 座学用・体験学習用教材開発、公共施設の子供向けイベントや小学校にて講座開催 ⑤ 中国農民工学校への楽器寄贈 1校実施 ⑥ 若手ピアニスト119名に学びや発表の機会を提供（マスタークラス16回、ヤマハホールコンサート5回）
人材	働きがいの向上	人材開発、ワークライフバランス	① 従業員サーベイ「働きがい」肯定的回答率の継続的向上 ② 人的投資額2倍 ③ グローバル視点でビジネスをけん引するリーダーの育成と適所適材配置 ④ 自律的なキャリア開発支援強化による社員一人ひとりの成長の後押し	① 従業員サーベイ「働きがい」肯定的回答率 横ばいで推移 ② 人的投資額1.6倍 ③ タレントマネジメントシステムにより従業員データを可視化、全社横断的な適所適材配置に向け人材の流動性向上／基幹職人事制度改定 ④ 管理職へのキャリア面談研修実施／キャリア採用公募制度導入／教育ポータルサイト作成
	人権尊重とDE&I	ともに働く仲間の人権尊重施策（人権教育、デューディリジェンス）	① 時勢に則した人権デューディリジェンスの高度化：人権重点課題特定と範囲・手法見直し／人権課題に対する対応窓口とプロセス明確化／人権教育コンテンツの充実（人権教育 全グループ企業参加） ② 通報制度のグローバル標準化、信頼性向上 ③ 指導者層以上の全従業員に対するハラスメント研修の定期実施	① 人権リスクの評価プロセス構築と重要なリスクの特定および担当部門のアクションモニタリング実施／役員を含む人権・DE&I部会委員と外部有識者のダイアログを実施／人権教育全グループ企業参加／国内サプライヤーを対象とした労働人権に関するセミナーを実施 ② 国内では通報従事者教育・面談、通報窓口認知度調査を実施、海外では全拠点で通報担当者への研修および通報利用者への教育コンテンツ配信を実施 ③ 本社全社員、国内グループ企業全管理職を対象にハラスメント防止研修実施
		DE&I推進	① 女性役員比率向上に向けた、女性リーダーの戦略的・集中的育成・創出：個別キャリアデベロップメントプランの作成／メンタリングスキーム構築 ② 管理職女性比率向上（管理職女性比率 グローバル 19%）：グループ企業別DE&I行動計画策定・実施／ジェンダー平等+個社課題に基づいたDE&I取り組み促進と、好事例の共有／アンコンシャスバイアス研修の展開 ③ 外国籍役員比率向上：コアポジション要件の明確化／CDPの計画的実施 ④ 業務のグローバル化促進とローカル人材育成（クロスボーダー配置 30名）：本部連携の中堅人材の育成的ローテーション／コーポレート部門の個別ニーズ拾い上げ／国際間異動ルール整備／グローバルトレニー（1-2年）/インターンシップ（半年未満）制度導入	① 女性活躍推進部会にて女性リーダーの継続的育成・創出を推進 ② 企業別DE&I行動計画の策定と実施／アンコンシャスバイアス研修実施／メンタリングプログラム実施／管理職女性比率グローバル19% ③ グローバルでのコアポジション評価要件検討／グループ企業のコアポジション人材を対象に海外拠点リーダー育成研修実施 ④ 国際間異動規定制定／社内システム等の英語化推進／クロスボーダー配置32名
	風通しが良く、皆が挑戦する風土の醸成	意識調査、対話機会創出、安全と健康 他	① 従業員サーベイ「働きやすさ」肯定的回答率の継続的向上 ② 経営層と従業員の対話など、多様な対話機会を創出し、風通しの良い職場づくりを促進 ③ 多様で柔軟な働き方の支援（仕事とプライベートの両立のための仕組み）メンタルケア体制の再構築 ④ 安全教育再徹底（休業災害ゼロ） ⑤	① 従業員サーベイ「働きやすさ」肯定的回答率2%向上 ② 社長と従業員の対話 オンライン43回543人、現場訪問33回556人（2020年からの累計 オンライン102回1,273人、現場訪問34回561人）／傾聴トレーニング実施（約170名） ③ 副業制度導入、海外駐在帯同者就業許可制度導入 ④ 新たなメンタルケアの取り組み本格化 ⑤ 安全衛生モニタリング、拠点担当者への教育等を通じて製造拠点での労災予防取り組みを深化

データの集計範囲など詳細についてはESGデータを参照ください。